

# 保育所・認定こども園・幼稚園をとりまく現状と課題について (ダイジェスト版)

## 1 これまでの経緯

### (1) 幼稚園をとりまく課題についての検討委員会の検討結果（報告書）

平成30年5月23日に開催された「第1回砺波市子ども・子育て会議」において

小学校就学前までに育つことが期待される「生きる力の基礎となる心情、意欲、態度を育てる環境を整える」ことが最も重要と考え、園児数が少なすぎることで、多すぎることで生じるデメリットに十分に配慮し、「子どもの発達を十分に保障する環境づくり」に取り組む。

ことが子ども・子育て会議として了承されました。

#### 【検討結果報告書】

- 中野幼稚園は、太田幼稚園と統合する
- 梅檀野幼稚園は、般若幼稚園と統合する
- 高波幼稚園は、他の3つの幼稚園に比べ少なすぎるとは言えず、また、北部幼稚園と統合した場合、統合後の園児数が多すぎることから、当分の間、現状のままとする

### (2) 保育所をとりまく現状と課題について

平成30年11月27日に開催された「第2回砺波市子ども・子育て会議」に資料提供したところ

現状と課題について、保育所、認定こども園及び幼稚園を含めた砺波市全体で検討していく。

検討するワーキンググループを設ける前に、市において、保育所について判断基準のたたき台を作成し、議論を深める。

との意見が出されました。

### (3) 保育所・認定こども園・幼稚園をとりまく現状と課題について（基準の提示）

令和元年5月28日に開催された「第1回砺波市子ども・子育て会議」において

保育所の適正な保育環境の基準について、引き続き、議論を深める。  
また、保育所の今後のあり方について進めていく。

## 2 砺波市内の施設について（小学校区別）

小学校区	施設名
出町小学校区	ちゅうりっぷ保育園、出町認定こども園、出町青葉幼稚園
庄南小学校区	庄下保育所（庄下地区大門）、太田認定こども園、中野幼稚園
砺波東部小学校区	庄下保育所（庄下地区大門を除く）、東部保育所、あぶらでん保育園

小学校区	施設名
砺波南部小学校区	南部認定こども園
砺波北部小学校区	北部認定こども園、高波幼稚園
庄東小学校区	東般若保育園、般若幼稚園、梅檀野幼稚園
鷹栖小学校区	鷹栖保育所
庄川小学校区	東山見保育所、青島保育所、雄神保育所、種田保育所

※中野幼稚園、梅檀野幼稚園は令和2年3月末に閉園予定

### 3 保育所、認定こども園及び幼稚園の違いについて

#### (1) 入園条件

**保育所**  
0~5さい



就労などのため家庭で保育のできない保護者に代わって保育する施設

入園条件：保護者が働いている等の理由が必要

**幼稚園**  
3~5さい



幼児期の教育を行う学校

入園条件：なし（保護者の状況を問わない）

#### 保育と教育を一体的に行う施設（保育所と幼稚園の機能をあわせ持つ施設）

0~2歳	保育所タイプ	入園条件：保護者が働いている等の理由が必要
	幼稚園タイプ	なし
3~5歳	保育所タイプ	入園条件：保護者が働いている等の理由が必要
	幼稚園タイプ	入園条件：なし（保護者の状況を問わない）



#### (2) 従うべきガイドライン

施設種類	ガイドライン名
保育所	保育所保育指針
幼保連携型認定こども園	幼保連携型認定こども園教育・保育要領
幼稚園	幼稚園教育要領

保育所、認定こども園及び幼稚園の修了までに育つことが期待される生きる力の基礎となる心情、意欲、態度を指導するための事項が「5領域」として定められており、各ガイドラインのねらいや内容はほぼ同じ。

#### 4 保育所、認定こども園及び幼稚園の申込状況について

##### (1) 保育所、認定こども園及び幼稚園の入園状況について（R2.3.1の入園予定人数）

施設名	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計
保育所	85	133	136	164	179	178	875
認定こども園	55	95	112	182	163	173	780
幼稚園				8	13	27	48
合計	140	228	248	354	355	378	1,703

##### (2) 申込状況について

ア 3歳未満児・・・申込みが著しく増えており「利用調整」を実施  
入園希望が特定の施設へ偏ることが多く、地域性を保てないという課題があります。

イ 3歳以上児・・・定員に対して余裕がある状況  
出町認定こども園及び北部認定こども園の余裕は若干程度

0～2歳児と3～5歳児の入園状況は異なるため、保育所・認定こども園・幼稚園をとりまく現状と課題について考える場合、0～2歳児と3～5歳児は分けて考える必要があります。

#### 5 1クラス当たりの子どもの人数について（国の基準）

保育所、認定こども園及び幼稚園について、1クラス当たりの子どもの数や、保育士等1人が受け持つことができる子どもの人数は、以下のとおり国の基準で定められています。

##### (1) 保育所・認定こども園における基準

■児童福祉施設の設備及び運営に関する基準

■幼保連携型認定こども園の学級の編成、職員、設備及び運営に関する基準

年齢	単位	人数
0歳	保育士（保育教諭） 1人当たり	3人
1～2歳		6人
3歳		20人
4～5歳		30人

##### (2) 幼稚園における基準

■幼稚園設置基準

年齢	単位	人数
3～5歳	1クラス当たり	35人以下

## 6 1クラス当たりの適正な子どもの人数について

1クラス当たりの最小の子どもの人数や、適正な子どもの人数は定められていません。

### (1) 砺波市内の保育士、保育教諭及び幼稚園教諭等を対象にしたアンケート

それぞれの施設において子どもと関わっている保育士、保育教諭及び幼稚園教諭等を対象に、「1クラス当たりの子どもの人数」について、「適正」、「少なすぎる」、「多すぎる」子どもの人数についてアンケートを実施した結果、

1クラス当たりの「適正」と思う子どもの人数

3歳児クラスは概ね11～20人 4・5歳児クラスは概ね11～25人

### (2) 調査・研究

1クラス当たりの適正な子どもの数についての調査・研究があり、参考としました。

1クラス当たりの「適正」と思う子どもの人数

3歳児クラスは概ね15～20人 4・5歳児クラスは概ね20～30人

(3) アンケート結果からの考察と、②の調査・研究結果の考察は概ね一致すると言えます。このことから、保育士、保育教諭及び幼稚園教諭を対象にした「1クラス当たりの子どもの人数」について「適正」、「少なすぎる」、「多すぎる」かのアンケートの結果は概ね近い数値を示していると言えます。

### (4) その他の意見

#### ア 小幡委員（地区自治振興会協議会、子ども・子育て会議副会長）

- ・五鹿屋幼稚園の人数が少なかった時は、地域行事を行うのも困ったし、様子を見ていて、子どもがかわいそうだった。
- ・地区内の施設であった五鹿屋幼稚園から小学校区内の施設の南部認定こども園となったことで、地区が主導する関わりから施設が主導する関わりとなった。これまでと比べ地区と施設との関わりは希薄になっていくが、その分、地区の行事に集中して力をかけ、地域の子ども達にも積極的に参加してもらっており、施設が関わらなくても地域行事は成り立っている。
- ・子どもが多い方が活気があって良い。1クラス10人は必要ではないか。
- ・小学校区で一つにしていくことは砺波南部小学校区がしっかりと成り立っていることから、賛成。

#### イ 小倉委員（幼稚園PTA連絡協議会）

- ・南部認定こども園ができて本当に良かった。
- ・保育の専門家ではないから正しいかわからないが、1クラス12人は必要だと思う。10人だと2グループに分けた際に1グループ5人になる。5人では少ない。
- ・次男が年中になる時の平成29年に東野尻幼稚園から南部認定こども園に統合した。東野尻幼稚園の時の次男の学年の人数は15人だったが、南部認定こども園になって人数が倍くらいに増えた。親も子どもも学年の人数が増えて、行事が楽しくなった、保護者の繋がりが増えた、友達が増えたと、楽しく前向きな環境になり、とても喜んでいる。
- ・長男は東野尻幼稚園を卒園したが、小学校入学時に東野尻幼稚園出身の子どもは学年の4分の1くらいだったため、親も子どもも、しばらくの間は戸惑った。

## 7 保育所、認定こども園及び幼稚園の入園状況について

「1クラス当たりの少なすぎると思う子どもの人数」に該当する施設を赤色塗り、「1クラス当たりの多すぎると思う子どもの人数」に該当する施設を青色塗りしてあります。また、該当する年齢の人数を太字にしてあります。

### ア 保育所

	施設名	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計
公立	鷹栖保育所	8	15	16	<b>22</b>	18	<b>26</b>	105
	庄下保育所	8	15	18	18	17	20	96
	東部保育所	9	13	17	20	33	24	116
	東山見保育所	3	5	6	<b>9</b>	<b>8</b>	<b>8</b>	39
	青島保育所	5	10	9	11	16	12	63
	雄神保育所	2	4	0	<b>7</b>	<b>3</b>	<b>6</b>	22
	種田保育所	3	5	6	<b>8</b>	<b>4</b>	<b>7</b>	33
私立	東般若保育園	7	13	12	17	16	18	83
	ちゅうりっぷ保育園	16	23	22	20	24	24	129
	あぶらでん保育園	24	30	30	<b>32</b>	<b>40</b>	<b>33</b>	189
	合計	85	133	136	164	179	178	875

### イ 認定こども園

	施設名	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計
公立	出町認定こども園	20	30	33	53	50	<b>51</b>	237
	南部認定こども園	12	18	24	32	31	31	148
	北部認定こども園	12	29	33	52	45	<b>51</b>	222
	太田認定こども園	11	18	16	29	21	<b>26</b>	121
私	出町青葉幼稚園			6	16	16	14	52
	合計	55	95	112	182	163	173	780

### ウ 幼稚園

	施設名	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計
公立	中野幼稚園				0	0	8	8
	高波幼稚園				<b>3</b>	<b>6</b>	<b>9</b>	18
	般若幼稚園				<b>4</b>	<b>4</b>	<b>7</b>	15
	梅檀野幼稚園				1	3	3	7
	合計				8	13	27	48

## 8 小学校区毎の状況

### (1) 出町小学校区

ア 11歳以下（小学校6年生）の人口の状況（H31.3.31）について

地区	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳	11歳
出町地区	83	89	83	72	79	81	94	84	72	85	76	87
合計	83	89	83	72	79	81	94	84	72	85	76	87

イ 令和元年度の入園状況（R2.3.1予定）について

施設名	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計	利用定員
ちゅうりっぷ保育園	16	23	22	20	24	24	129	120
出町認定こども園	20	30	33	53	50	51	237	270
出町青葉幼稚園			6	16	16	14	52	55
合計	36	53	61	89	90	89	418	445

### (2) 庄南小学校区

ア 11歳以下（小学校6年生）の人口の状況（H31.3.31）について

年度	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳	11歳
庄下地区 (大門)	4	3	7	1	5	7	6	2	2	5	4	6
中野地区	7	11	13	15	14	20	15	18	23	15	18	19
太田地区	11	12	10	13	7	10	8	10	15	9	14	14
合計	22	26	30	29	26	37	29	30	40	29	36	39

イ 令和元年度の入園状況（R2.3.1予定）について

施設名	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計	利用定員
太田認定こども園	11	18	16	29	21	26	121	165
中野幼稚園				0	0	8	8	60
合計	11	18	16	29	21	34	129	225

### (3) 砺波東部小学校区

ア 11歳以下（小学校6年生）の人口の状況（H31.3.31）について

地区	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳	11歳
庄下地区 (大門を除く)	15	12	16	23	12	17	21	15	18	18	11	17
油田地区	33	40	38	33	39	36	34	44	39	30	37	58
南般若地区	9	16	13	17	25	18	24	29	34	35	35	39
柳瀬地区	15	11	18	14	15	17	15	22	21	29	28	30
合計	72	79	85	87	91	88	94	110	112	112	111	144

イ 令和元年度の入園状況（R2.3.1 予定）について

施設名	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計	R元 利用定員
庄下保育所	8	15	18	18	17	20	96	130
東部保育所	9	13	17	20	33	24	116	160
あぶらでん保育園	24	30	30	32	40	33	189	200
合計	41	58	65	70	90	77	401	490

### (4) 砺波南部小学校区

ア 11歳以下（小学校6年生）の人口の状況（H31.3.31）について

年度	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳	11歳
五鹿屋地区	11	13	15	16	22	23	25	18	21	21	23	23
東野尻地区	18	14	7	18	11	11	16	14	21	13	18	24
合計	29	27	22	34	33	34	31	32	42	34	41	47

イ 令和元年度の入園状況（R2.3.1 予定）について

施設名	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計	利用定員
南部認定こども園	12	18	24	32	31	31	148	195
合計	12	18	24	32	31	31	148	195

(5) 砺波北部小学校区

ア 11歳以下（小学校6年生）の人口の状況（H31.3.31）について

地区	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳	11歳
若林地区	3	4	4	7	5	5	3	7	5	4	8	6
林地区	34	44	50	59	58	50	46	47	44	36	52	49
高波地区	1	7	5	4	8	10	6	13	8	15	17	14
合計	38	55	59	70	71	65	55	67	57	55	77	69

イ 令和元年度の入園状況（R2.3.1 予定）について

施設名	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計	利用定員
北部認定こども園	12	29	33	52	45	51	222	265
高波幼稚園				3	6	9	18	60
合計	12	29	33	55	51	60	240	325

ウー1 北部認定こども園の入園状況（各年度4.1現在）について **今回資料追加**

※平成25年度～平成30年度については、0～2歳は北部保育所、3～5歳は北部幼稚園の入園状況

年度	合計	前年比	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳
平成25年度	202	—	1	19	30	39	59	54
平成26年度	189	▲13	5	23	21	46	36	58
平成27年度	181	▲8	1	27	31	40	47	35
平成28年度	199	18	3	24	30	50	42	50
平成29年度	205	6	4	25	31	50	52	43
平成30年度	213	8	5	29	34	44	51	50
令和元年度	209	▲4	2	26	33	52	45	51

ウー2 高波幼稚園の入園状況（各年度4.1現在）について

年度	合計	前年比	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳
平成25年度	31	—				12	9	10
平成26年度	28	▲3				5	13	10
平成27年度	28	0				11	5	12
平成28年度	21	▲7				5	11	5
平成29年度	26	5				10	4	12
平成30年度	20	▲6				6	9	5
令和元年度	18	▲2				3	6	9

(6) 庄東小学校区

ア 11歳以下（小学校6年生）の人口の状況（H31.3.31）について

地区	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳	11歳
般若地区	9	6	6	5	6	9	10	9	12	15	9	17
東般若地区	9	9	10	10	12	12	11	21	17	16	10	12
梅檀野地区	4	3	5	9	3	7	6	9	8	7	6	5
梅檀山地区	1	1	0	2	2	0	3	5	2	3	3	1
合計	23	19	21	26	23	28	30	44	39	41	28	35

イ 令和元年度の入園状況（R2.3.1 予定）について

施設名	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計	利用定員
東般若保育園	7	13	12	17	16	18	83	80
般若幼稚園				4	4	7	15	90
梅檀野幼稚園				1	3	3	7	60
合計	7	13	12	22	23	28	105	230

ウー1 東般若保育園の入園状況（各年度4.1現在）について 今回資料追加

年度	合計	前年比	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳
平成25年度	99	—	0	19	20	26	16	18
平成26年度	102	3	0	14	23	23	25	17
平成27年度	104	2	0	11	16	29	23	25
平成28年度	94	▲10	1	8	16	18	28	23
平成29年度	83	▲9	1	10	9	19	16	28
平成30年度	77	▲6	2	11	15	15	17	17
令和元年度	77	0	2	13	12	17	16	17

ウー2 般若幼稚園の入園状況（各年度4.1現在）について

年度	合計	前年比	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳
平成25年度	24	—				9	4	11
平成26年度	26	2				11	12	3
平成27年度	31	5				8	11	12
平成28年度	24	▲7				5	8	11
平成29年度	21	▲3				7	6	8
平成30年度	16	▲5				3	7	6
令和元年度	15	▲1				4	4	7

ウー3 梅檀野幼稚園の入園状況（各年度4.1現在）について 今回資料追加

年度	合計	前年比	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳
平成25年度	14	—				3	5	6
平成26年度	11	▲3				3	3	5
平成27年度	8	▲3				2	3	3
平成28年度	9	1				4	2	3
平成29年度	8	▲1				3	3	2
平成30年度	8	0				2	3	3
令和元年度	7	▲1				1	3	3

(7) 鷹栖小学校区

ア 11歳以下（小学校6年生）の人口の状況（H31.3.31）について

地区	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳	11歳
鷹栖地区	9	23	18	21	17	26	24	24	26	25	29	29
合計	9	23	18	21	17	26	24	24	26	25	29	29

イ 令和元年度の入園状況（R2.3.1予定）について

施設名	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計	利用定員
鷹栖保育所	8	15	16	22	18	26	105	140
合計	8	15	16	22	18	26	105	140

(8) 庄川小学校区

ア 11歳以下（小学校6年生）の人口の状況（H31.3.31）について

地区	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳	11歳
東山見地区	4	5	6	8	7	9	13	13	12	8	13	20
青島地区	8	12	8	12	15	10	13	14	16	7	15	15
雄神地区	1	5	0	7	4	9	5	7	12	8	9	8
種田地区	4	5	6	7	4	5	5	7	6	10	10	7
合計	17	27	20	34	30	33	36	41	46	33	47	50

イ 令和元年度の入園状況（R2.3.1 予定）について

施設名	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計	利用定員
東山見保育所	3	5	6	9	8	8	39	100
青島保育所	5	10	9	11	16	12	63	90
雄神保育所	2	4	0	7	3	6	22	45
種田保育所	3	5	6	8	4	7	33	45
合計	13	24	21	35	31	33	157	280

ウー1 東山見保育所の入園状況（各年度4.1現在）について

年度	合計	前年比	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳
平成25年度	54	—	0	5	10	8	12	19
平成26年度	50	▲4	2	3	12	13	9	11
平成27年度	47	▲3	0	4	8	12	14	9
平成28年度	54	7	2	4	9	14	11	14
平成29年度	48	▲6	0	5	6	10	16	11
平成30年度	47	▲1	1	4	10	8	10	14
令和元年度	36	▲11	0	5	6	9	8	8

ウー2 青島保育所の入園状況（各年度4.1現在）について 今回資料追加

年度	合計	前年比	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳
平成25年度	58	—	1	8	9	9	18	13
平成26年度	61	3	0	9	11	14	9	18
平成27年度	57	▲4	1	8	9	14	16	9
平成28年度	68	11	1	10	11	14	16	16
平成29年度	59	▲9	1	5	12	13	13	15
平成30年度	51	▲8	2	4	6	15	12	12
令和元年度	59	8	2	10	8	11	16	12

ウー3 雄神保育所の入園状況（各年度4.1現在）について

年度	合計	前年比	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳
平成25年度	35	—	0	3	10	5	8	9
平成26年度	35	0	0	3	4	14	6	8
平成27年度	38	3	1	4	5	8	14	6
平成28年度	35	▲3	0	5	5	5	8	12
平成29年度	26	▲9	0	3	3	7	5	8
平成30年度	20	▲6	0	0	4	4	7	5
令和元年度	20	0	0	4	0	7	3	6

ウー4 種田保育所の入園状況（各年度4.1現在）について

年度	合計	前年比	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳
平成25年度	50	—	1	3	10	11	13	12
平成26年度	52	2	0	5	11	11	11	14
平成27年度	47	▲5	0	6	8	11	11	11
平成28年度	50	3	1	7	8	12	11	11
平成29年度	35	▲15	0	6	4	7	9	9
平成30年度	35	0	1	5	9	4	7	9
令和元年度	30	▲5	0	5	6	8	4	7

## 9 「子どもの発達を十分に保障する環境づくり」のための保育所の1クラス当たりの人数の基準について（まとめ）

砺波市内には、保育所、認定こども園及び幼稚園が合わせて19施設あり、各小学校区には少なくとも1か所以上の保育施設が設置されていますが、それぞれの入園状況や申込状況は異なっています。

また、3歳未満児と3歳以上児でも入園状況や申込状況は異なっていることから、「保育所・認定こども園・幼稚園の課題について」考える場合、分けて考える必要があります。

子どもは、小学校就学前までに「生きる力の基礎となる心情、意欲、態度」が育つことが期待されており、それを指導するための事項が「5領域」として、各ガイドラインのねらいや内容として定められています。

保育所、認定こども園及び幼稚園では、義務教育及びその後の教育の基礎を培うとともに、子どもの最善の利益を考慮しつつ、子どもを心身ともに健やかに育成することに努めることとされており、それは当然ながら3歳未満児から必要なことではありますが、特に3歳以上児について「子どもの発達を十分に保障する環境づくり」に取り組む必要があります。

「子どもの発達を十分に保障する環境づくり」のためには、各施設について、3歳以上児の1クラス当たりの人数を「適正」にする必要があると考え、1クラス当たりの「適正」な人数に「満たない」又は「超える」場合、1クラス当たりを「適正」な人数にするため、施設の再編について検討していく必要があります。

しかしながら、「超える」場合については「入園後の保育士等の増」や「利用調整」により超える状況の解消を図ることは可能と考えますが、「満たない」場合については「利用調整」により満たさない状況を解消することは、地域性のこともあり困難であると言えます。

このことから、特に、1クラス当たりの「適正」な人数に「満たない」場合を解消することを優先して、施設の再編について検討していく必要があります。

3歳以上児の1クラス当たりの「適正」な子どもの人数は、保育士、保育教諭及び幼稚園教諭の経験や、各種調査・研究結果、また、昨年度幼稚園をとりまく課題について4つの幼稚園について課題を整理し、今後の方向性について検討を進めた結果や意見等から

3歳児クラスは概ね11～20人

4・5歳児クラスは概ね11～25人

と考えられます。



(案)

## 保育所の適正な保育環境の基準について

「子どもの発達を十分に保障する環境づくり」のためには、各施設について、3歳以上児の1クラス当たりの人数を「適正」にする必要があると考えられます。

そのため、1クラス当たりの「適正」な人数に「満たない」又は「超える」場合のうち、特に「満たない」場合については「入園後の保育士等の調整」や「利用調整」により状況の解消を図ることが困難であることから、1クラス当たりを「適正」な人数にするため、施設の在り方等について検討に着手していく必要があります。

3歳以上児の1クラス当たりの「適正」な子どもの人数は、保育士、保育教諭及び幼稚園教諭の経験や、各種調査・研究結果、また、昨年度幼稚園をとりまく課題について課題を整理し、今後の方向性について検討を進めた結果や意見等から、

3歳児クラスは概ね11～20人

4・5歳児クラスは概ね11～25人

と考えられます。

そこで、保育所の適正な保育環境を確保するための基準は、

3歳児又は4・5歳児の1クラス当たりの子どもの人数が「適正」な人数に「満たない」状態が3年間継続すると見込まれる場合、施設の再編について検討に着手する。

とします。

なお、保育所及び認定こども園では、就労等により保護者に代わって0～2歳児を保育していることから、施設の統合や廃止に際しては、0～2歳児の定員の確保について、十分に配慮します。

また、この基準については、3歳以上児で判断することから、全ての保育所、認定こども園及び幼稚園を対象とします。